

第6次吉岡町総合計画策定のための 住民アンケート調査結果報告書【概要版】

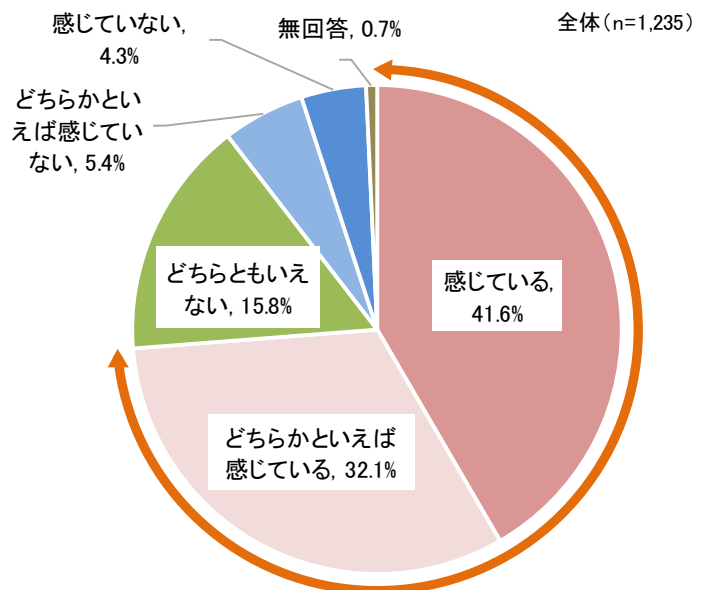
■本調査について

本調査は、第6次吉岡町総合計画策定にあたって、町の現状評価や定住意向をはじめ、今後期待するまちづくりの方向や各分野における施策要望など、住民の意識構造の実態を把握するために実施したものです(16歳以上の住民から2,500人を無作為抽出、有効回収数1,235票、有効回収率49.4%)。なお、本概要版は主要な設問について抜粋して掲載しています。

1. 町への愛着について

●愛着を『感じている』という人が73.7%となっています。一方、愛着を『感じていない』は9.7%にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえます。

※『感じている』は「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計。『感じていない』は「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計。

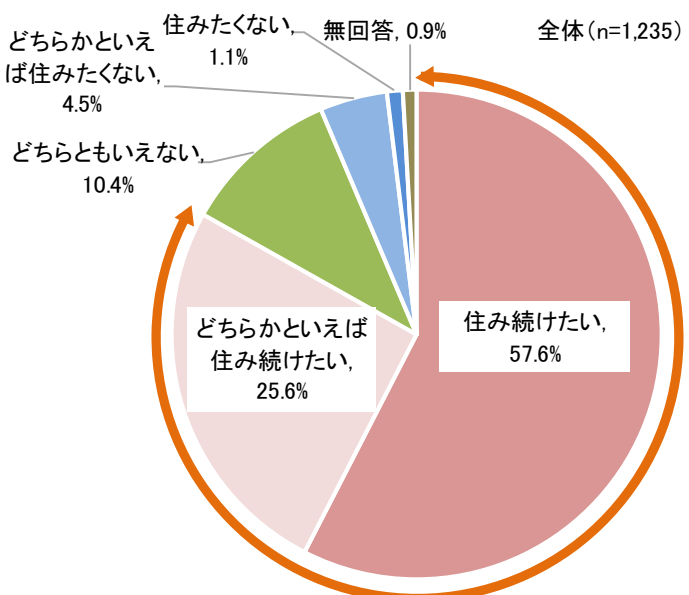


愛着を『感じている』73.7%

2. 今後の定住意向について

●『住み続けたい』という人が83.2%となっています。一方、『住みたくない』は5.6%にとどまり、定住意向は強いといえます。

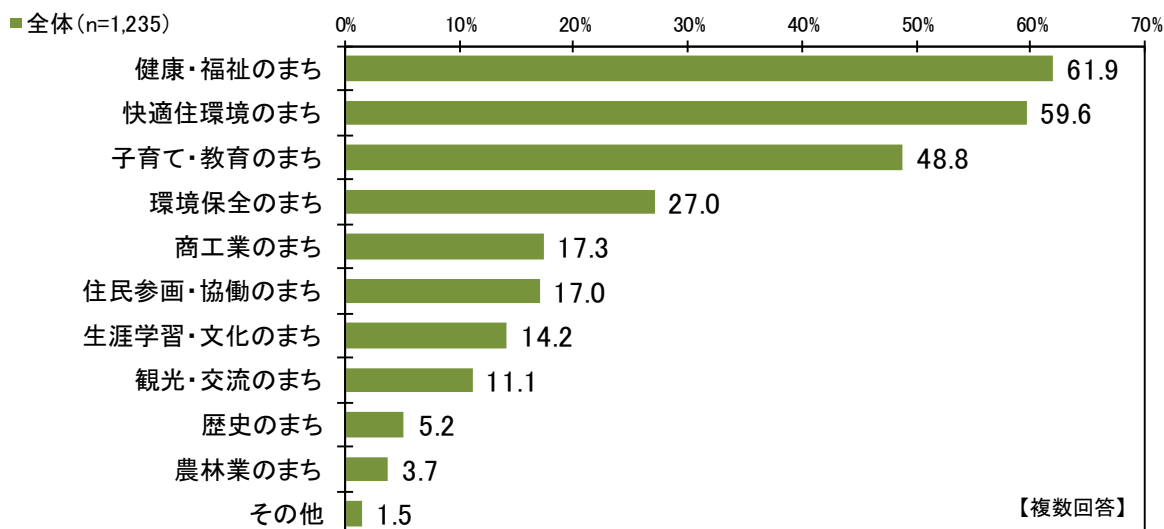
※『住み続けたい』は「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計。『住みたくない』は「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」の合計。



『住み続けたい』83.2%

3. 今後のまちづくりについて

- 「健康・福祉のまち」が第1位に挙げられ、次いで「快適住環境のまち」、「子育て・教育のまち」が続きます。
- 年齢別の第1位回答をみると、10代、20代、40代では「快適住環境のまち」、30代では「子育て・教育のまち」、50代以上では「健康・福祉のまち」となっています。

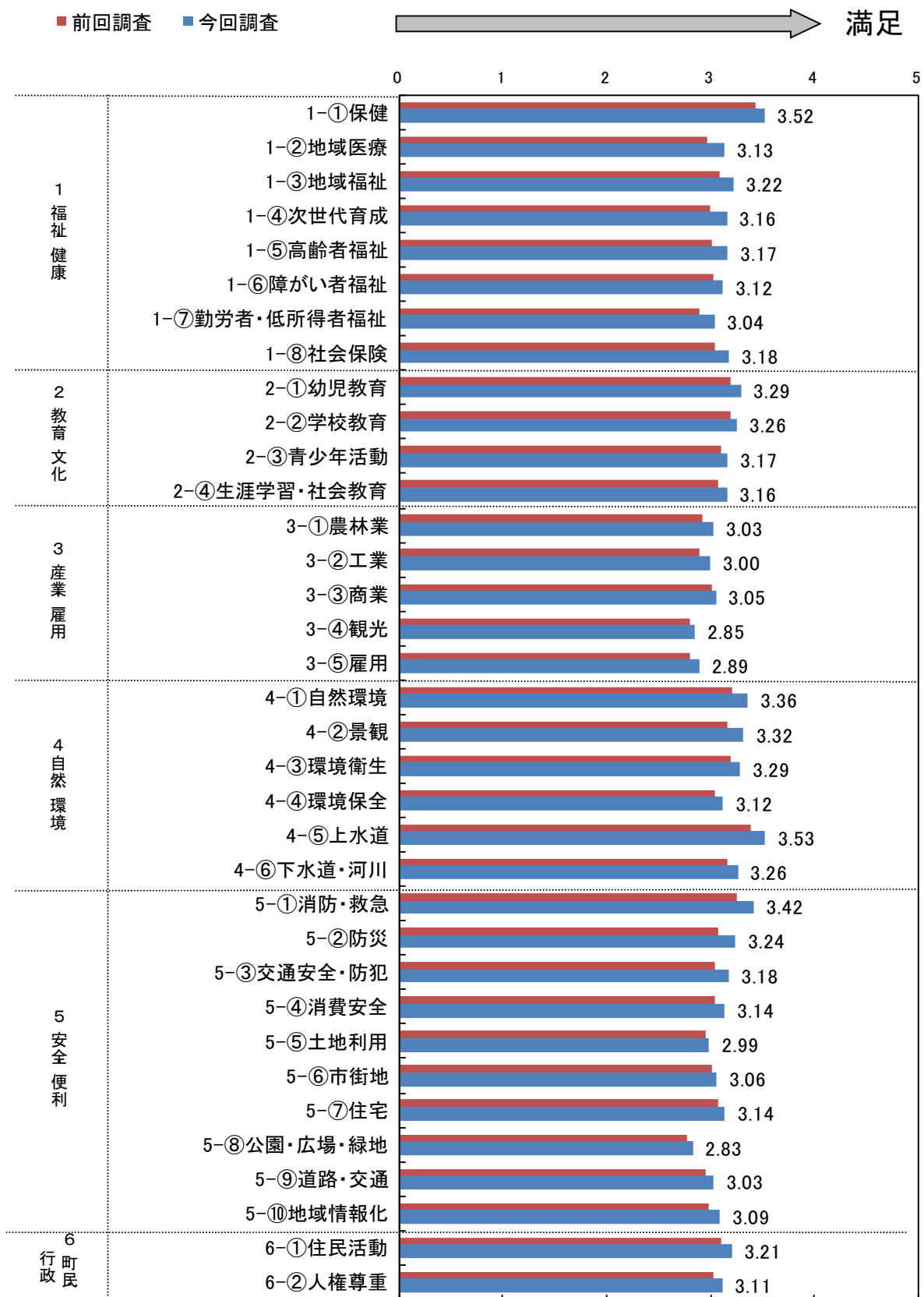


4. 満足度と重要度について

- 満足度の高い項目は、「4-⑤上水道」(3.53点)となっており、次いで「1-①保健」(3.52点)、「5-①消防・救急」(3.42点)、「4-①自然環境」(3.36点)、「4-②景観」(3.32点)となっています。
- 一方、満足度の低い項目は、「5-⑧公園・広場・緑地」(2.83点)が最も低く、次いで「3-④観光」(2.85点)、「3-⑤雇用」(2.89点)、「5-⑤土地利用」(2.99点)、「3-②工業」(3.00点)となっています。
- 満足度について、前回調査(平成27年に実施した総合戦略策定のためのアンケート調査)と比較すると、すべての項目で満足度が増加しています。
- 重要度の高い項目は「1-②地域医療」(4.16点)となっており、次いで「4-⑤上水道」(4.11点)、「5-①消防・救急」(4.07点)、「5-③交通安全・防犯」(4.06点)、「4-⑥下水道・河川」(4.02点)となっています。
- 重要度について、前回調査(平成27年に実施した総合戦略策定のためのアンケート調査)と比較すると、「1-②地域医療」、「4-⑤上水道」、「5-①消防・救急」などの項目が引き続き上位に挙げられています。
- 満足度と重要度の分析から、満足度が低く、重要度の高い、今後、特に力を入れて対応すべき項目は、「1-②地域医療」、「5-⑨道路・交通」などとなっています。

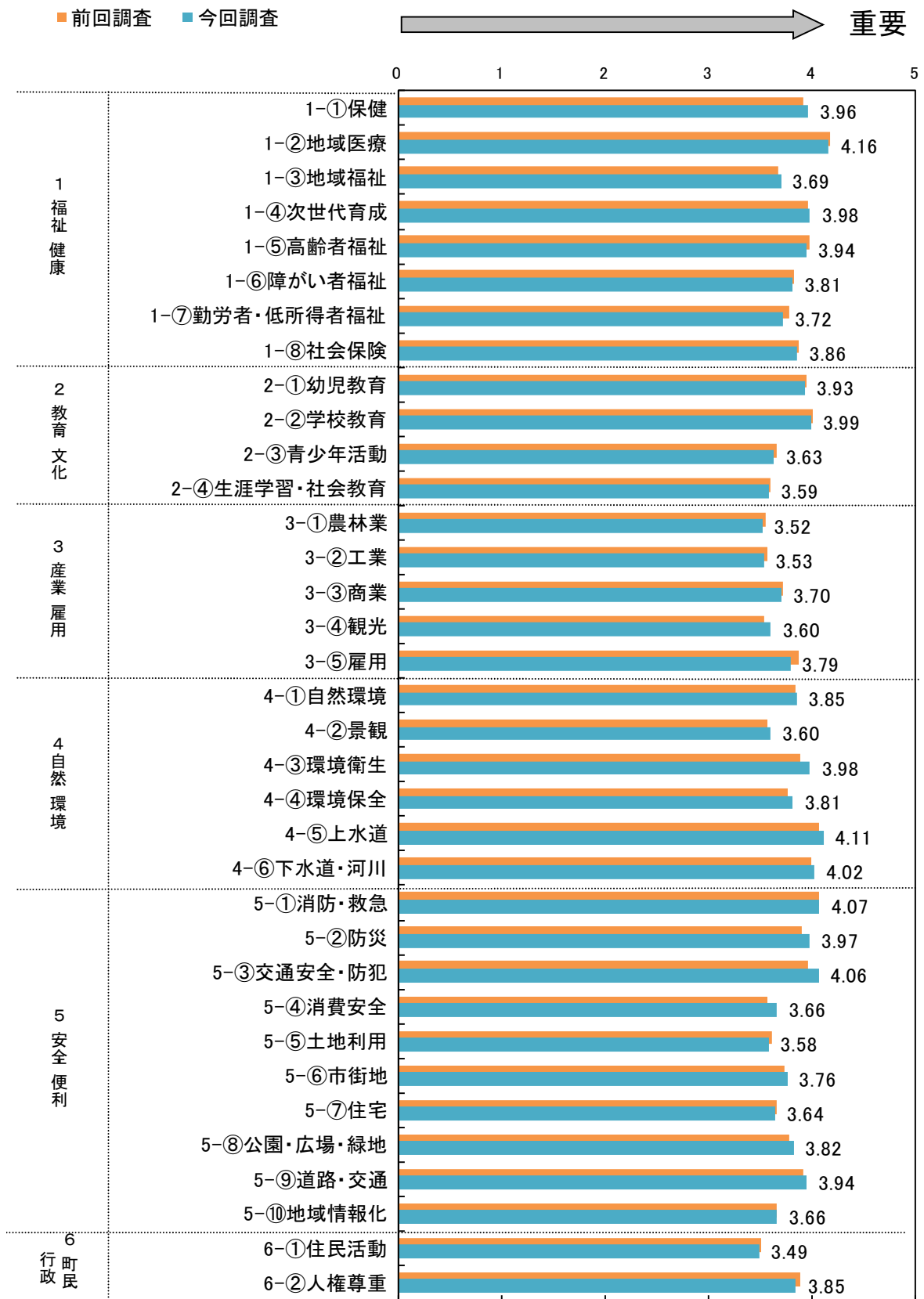
※数値は「非常に満足(重要)」を5点、「満足(重要)」を4点、「どちらでもない」を3点、「不満(あまり重要でない)」を2点、「非常に不満(重要でない)」を1点とした加重平均による評価点。

満足度について（全体／評価点）



※前回調査は平成 27 年に実施した総合戦略策定のためのアンケート調査。

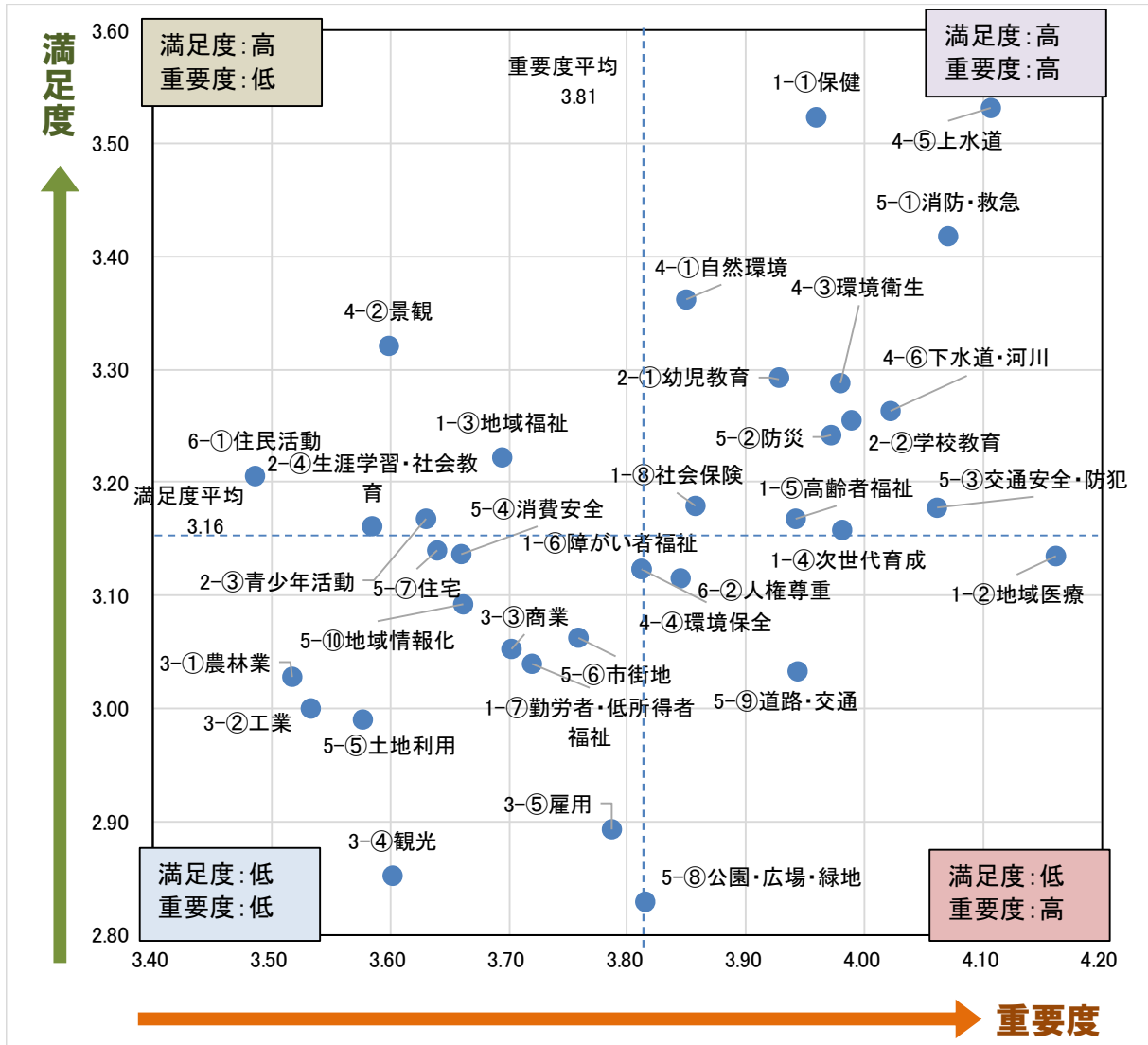
重要度について（全体／評価点）



※前回調査は平成 27 年に実施した総合戦略策定のためのアンケート調査。

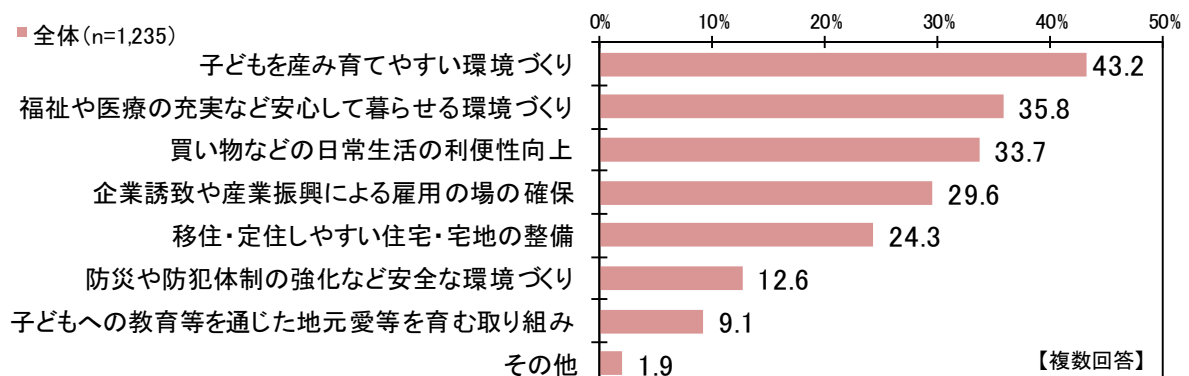
満足度・重要度の分析について（全体／評価点）

※縦軸が満足度、横軸が重要度であり、それぞれ点数が高いほど満足度または重要度が高いことを表しています。図右下の満足度が低く、重要度が高い項目が今後特に力を入れて対応すべき項目となります。



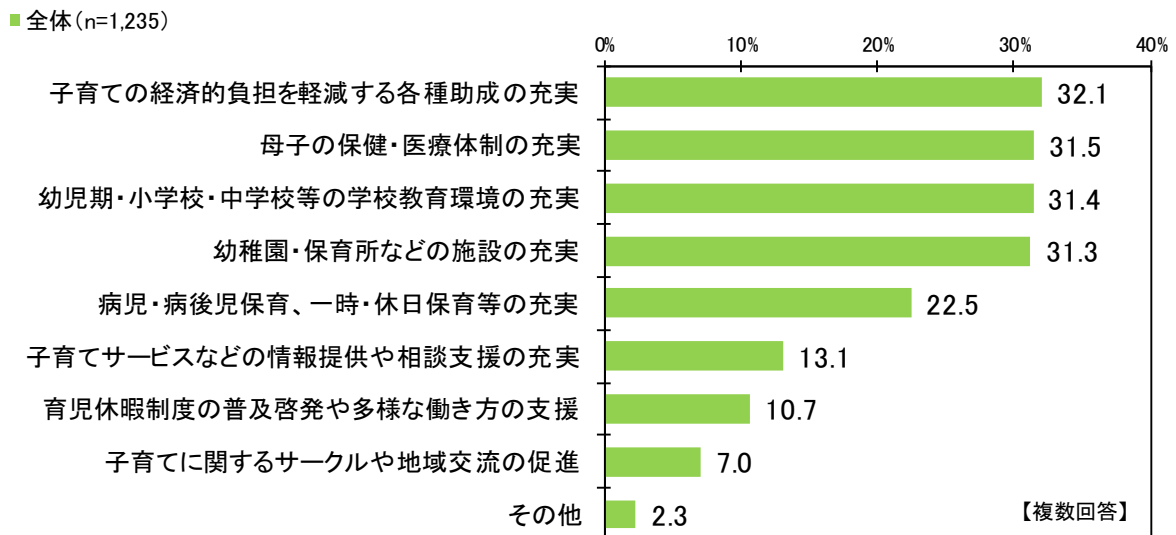
5. 若者の定住対策として必要なこと

●「子どもを産み育てやすい環境づくり」が第1位に挙げられ、次いで「福祉や医療の充実など安心して暮らせる環境づくり」、「買い物などの日常生活の利便性向上」が続きます。



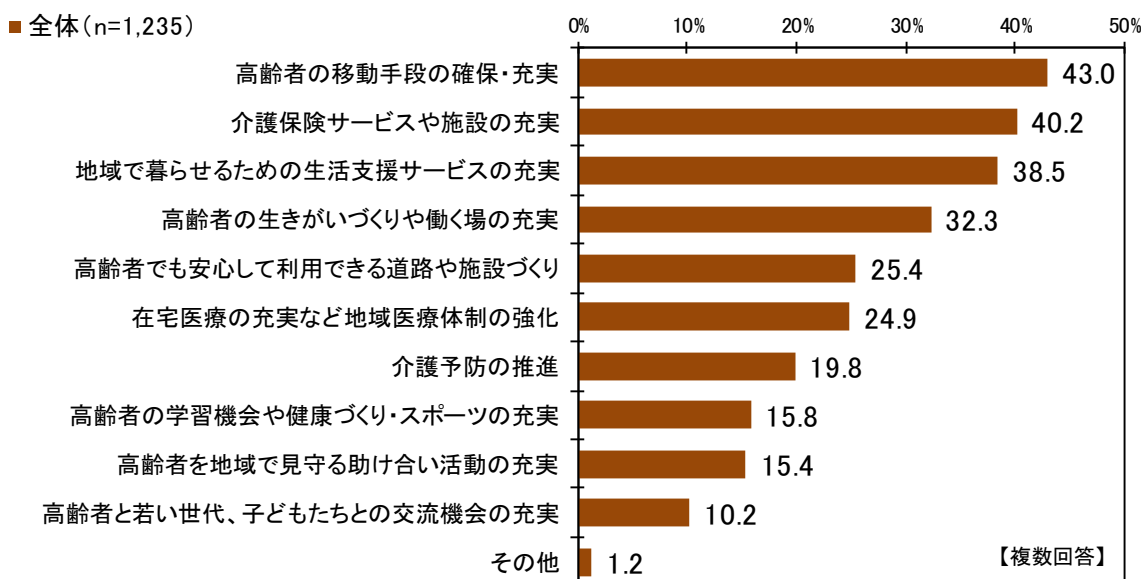
6. 子育て支援について

- 「子育ての経済的負担を軽減する各種助成の充実」が最も多く、僅差で「母子の保健・医療体制の充実」、「幼児期・小学校・中学校等の学校教育環境の充実」、「幼稚園・保育所などの施設の充実」が続きます。



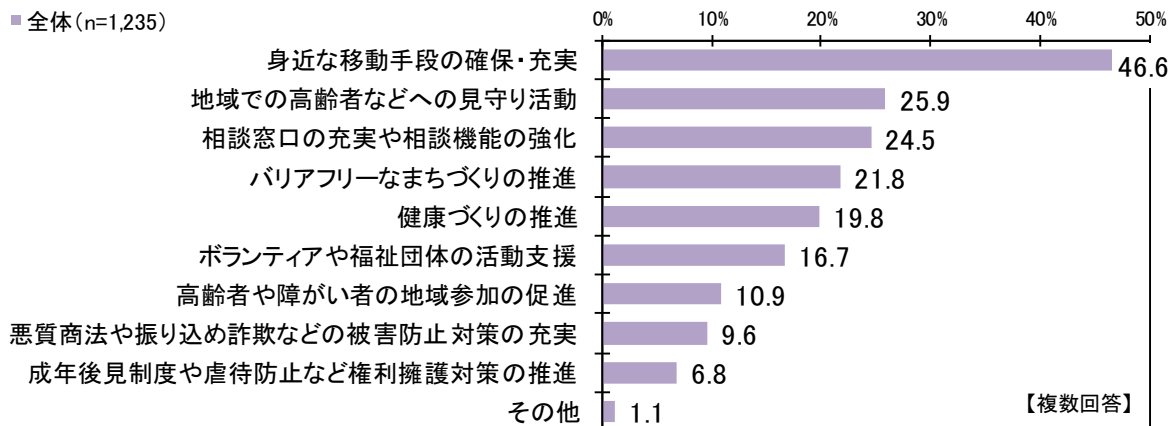
7. 高齢社会への対応について

- 「高齢者の移動手段の確保・充実」が第1位に挙げられ、次いで「介護保険サービスや施設の充実」、「地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」が続きます。



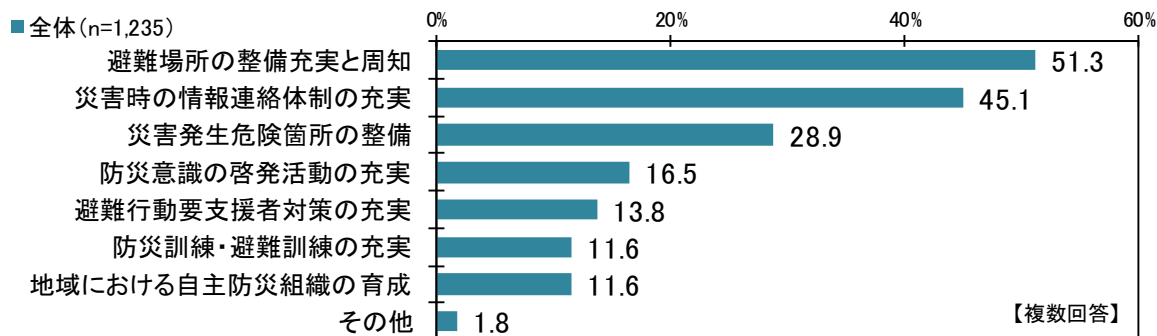
8. 地域の福祉環境の充実に必要なこと

- 「身近な移動手段の確保・充実」が第1位に挙げられ、次いで「地域での高齢者などへの見守り活動」、「相談窓口の充実や相談機能の強化」、「バリアフリーなまちづくりの推進」が続きます。



9. 防災対策について

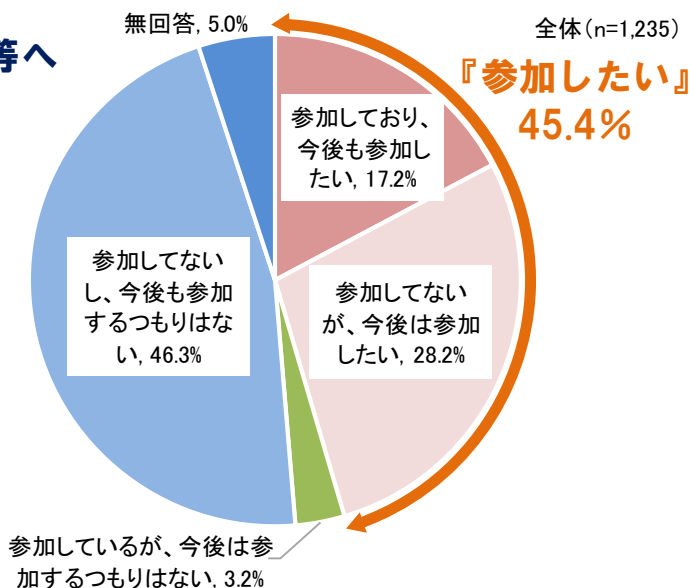
- 「避難場所の整備充実と周知」が最も多く、次いで「災害時の情報連絡体制の充実」が続きます。



10. 地域活動、ボランティア等への参加状況・参加意向

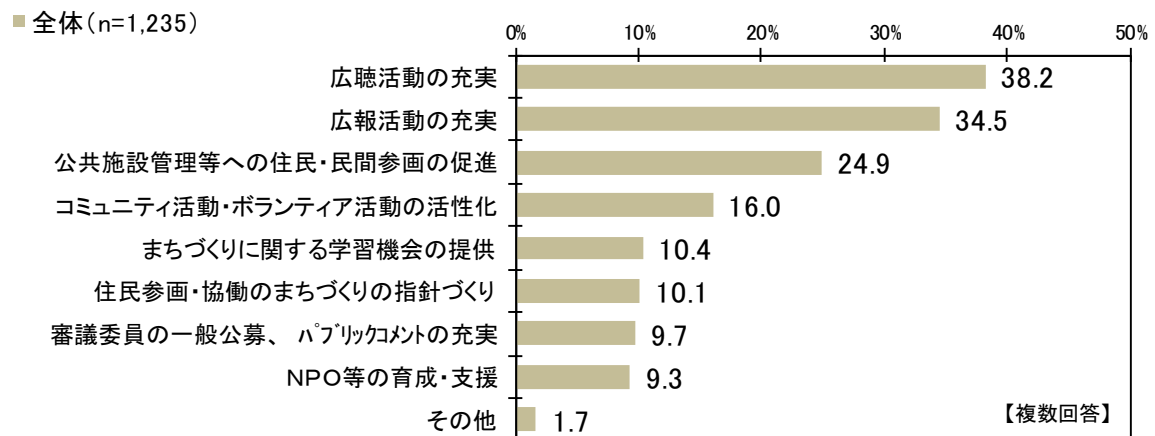
- 『参加したい』が45.4%と現在『参加している』(20.4%)の約2.2倍となっています。

※『参加したい』は「参加しており、今後も参加したい」と「参加していないが、今後は参加したい」の合計。『参加している』は「参加しており、今後も参加したい」と「参加しているが、今後は参加するつもりはない」の合計。



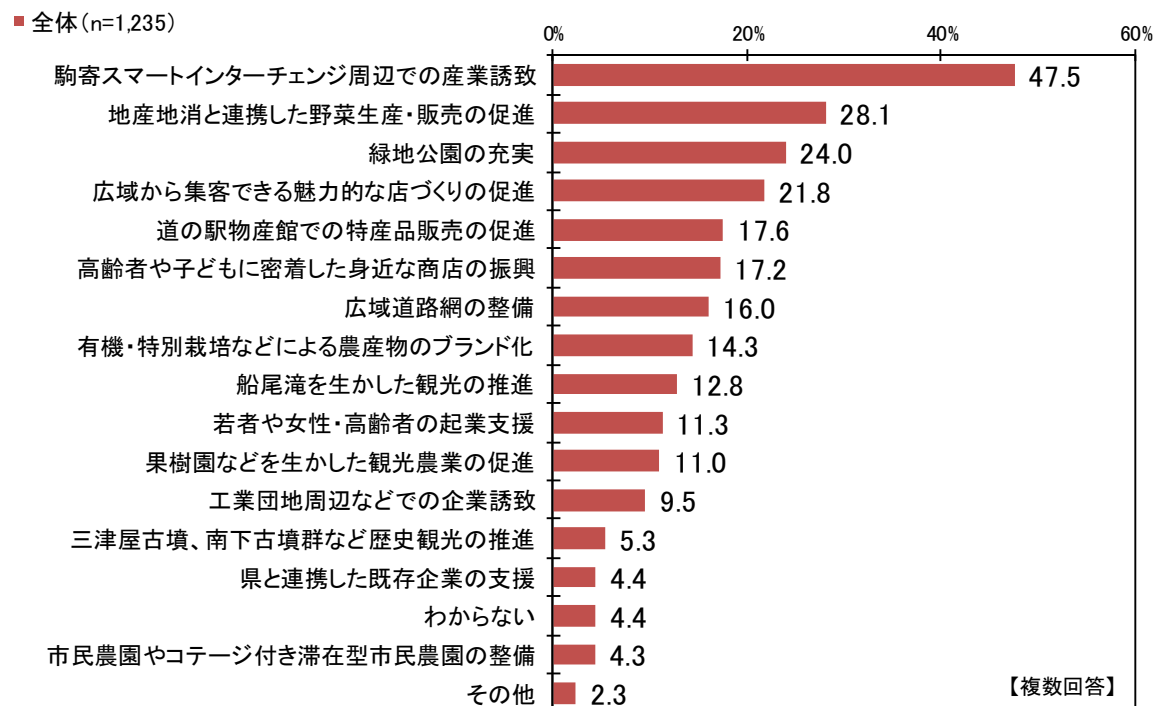
11. 住民参画・協働のまちづくりについて

- 「広聴活動の充実」が第1位となっており、次いで「広報活動の充実」、「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」の順となっています。



12. 産業活性化に必要なこと

- 「駒寄スマートインターチェンジ周辺での産業誘致」が他を引き離して第1位に挙げられ、次いで「地産地消と連携した野菜生産・販売の促進」、「緑地公園の充実」、「広域から集客できる魅力的な店づくりの促進」などの順となっています。



第6次吉岡町総合計画策定のための住民アンケート調査結果報告書【概要版】

発行：吉岡町

発行年月：平成31年3月

編集：吉岡町総務政策課政策室

〒370-3692 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 560 番地

電話：0279-54-3111 F A X：0279-54-8681